ＥＮＥＯＳ海外渡航支援事業報告書（学会渡航）

2026 年　10 月　14 日

工学部・(工学研究科修士課程)（どちらか○で囲む）
所属学科・専攻・回生　電気電子デジタル理工学学科・専攻　2 回生

氏　名　小野稜介

1．参加期間　2026 年　9 月　28 日 から　2026 年　10 月　1 日

2．会場（開催国・場所・機関等）

オーストラリア・シドニー・International Convention Centre Sydney（ICC Sydney），
Interspeech 2026（主催：ICSA）

3．発表成果（概要）

オーストラリア・シドニーで開催された音声情報処理分野の国際会議 Interspeech 2026 に参加し、「Fast Multichannel NMF with Directivity Regularization for DOA-Informed Speech Separation」と題する研究について、筆頭著者としてポスター発表を行った。

本研究では、複数の音源が混在する環境において、目的音源を高精度に抽出するための音源分離手法を提案した。具体的には、音源の到来方向（DOA）に関する事前情報を活用し、多チャネル音源分離手法である FastMNMF の空間モデルに指向性の制約を導入することで、音源分離性能の向上を図った。発表では、提案手法の理論的背景や従来手法との違い、実験による性能評価について説明した。

ポスター発表では、国内外の研究者と研究内容に関する質疑応答や意見交換を行い、提案手法の有効性や今後の課題について議論する機会を得た。また、会議期間中には音源分離、音声強調、空間音響などの関連分野における最新の研究発表を聴講し、近年の研究動向や新たな技術的アプローチについて知見を深めた。

今回の国際会議への参加を通じて、自身の研究成果を国際的に発信するとともに、研究に対する多角的な視点を得ることができた。今後は得られた知見を活用し、提案手法のさらなる高精度化や、実環境でのリアルタイム音源分離への応用に向けて研究を発展させていく。

4．奨学金の使途

往復路の渡航費の一部として使用した。